

わたしは

ダマサレナイ!!

第41話



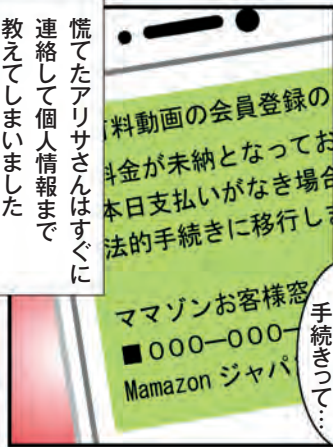
次から次へと犯人が考え出す架空請求の手口。この1年増えて来たのが電子マネー型と収納代行利用型。若い人も要注意です。

このコーナーで紹介するマンガは、実際に起きた事件をもとに「だましのシーン」を再現したものです。なぜだまされてしまうのか?ここで再現する巧妙な策略に、その秘密が隠されています。「私だけは大丈夫」なんて甘く考えていませんか?実はそう考える人こそ被害にあいやすいのです。

監修/警察庁 マンガ/まきのこうじ 取材/仁井慎治



今回の主人公はアリサさん(23歳)一人暮らしのOLの場合



確認しましたが、やはり登録完了されていますね。本日中に支払っていただかないと裁判になります!

今すぐ近くのコンビニへ行ってアマゾンのギフト券5000円分を購入してギフト券の1D番号をお知らせください。すぐですよ!!

POINT! GIFT CARD

2 プリペイドカードを購入させて1D番号を聞き出す「電子マネー型」

「有料動画閲覧履歴があり未納料金が発生しています。本日中に支払わないと法的手続きに移行します」などといった虚偽のメッセージをスマートフォンなどに送り付け、相手を不安に陥れてお金をだまし取る「架空請求詐欺」。最近では、1件当たりの被害額は少なくなっているものの、被害件数自体は増加傾向にあります。犯人側が1件当たりの請求額を少額に抑える一方、より多くの人をだまそうとしていくことがうかがわれます。警察などによる注意喚起が功を奏し、現金を送付させたり振り込ませたりするのは被害者に怪しまれることを悟った犯人は、少額でも数多くの人からお金をだまし取る手口を見出したのです。それが、「電子マネー型」と「収納代行利用型」の二つです。請求額が少額であることから、不安に陥った被害者が支払い易いということも、被害件数を増加させている要因になっています。

POINT! GIFT CARD

1 「架空請求詐欺」の新たな手口とは?

少額を数多くからだまし取る

相手に言われるまま
コンビニへ
取って返し



いらつしゃい
ませー



こんばんは
あら、なにか
買い忘れ？



あつた
これだ



アリサさんは
ギフト券を購入後
ID番号を
写真に撮って
メールで送信して
しまいましたー

お願い
します



ハァ〜給料日
前で大変なの
に〜っ!!

次の日



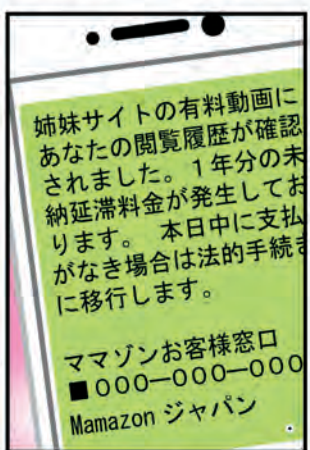
はあー
今日も最終
バスかあ…
またコンビニ
弁当だ



誰かしら

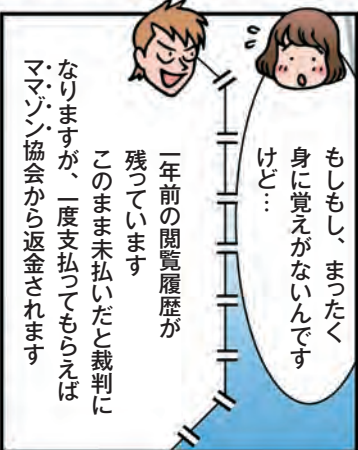


えーっ
またあ？



姉妹サイトの有料動画に
あなたの閲覧履歴が確認
されました。1年分の未
納延滞料金が発生してお
ります。本日中に支払
がなき場合は法的手続
に移行します。

ママゾンお客様窓口
■000-000-000
Mamazon ジャパン



もしもし、まったく
身に覚えがないんです
けど…
一年前の閲覧履歴が
残っています
このまま未払いだと裁判に
なりますが、一度支払ってもらえば
ママゾン協会から返金されます



間違つて
記録されたでしょう
保険によつて支払い分が
戻りますので…
払った方が
厄介なことにならないと
说得されたアリサさんは



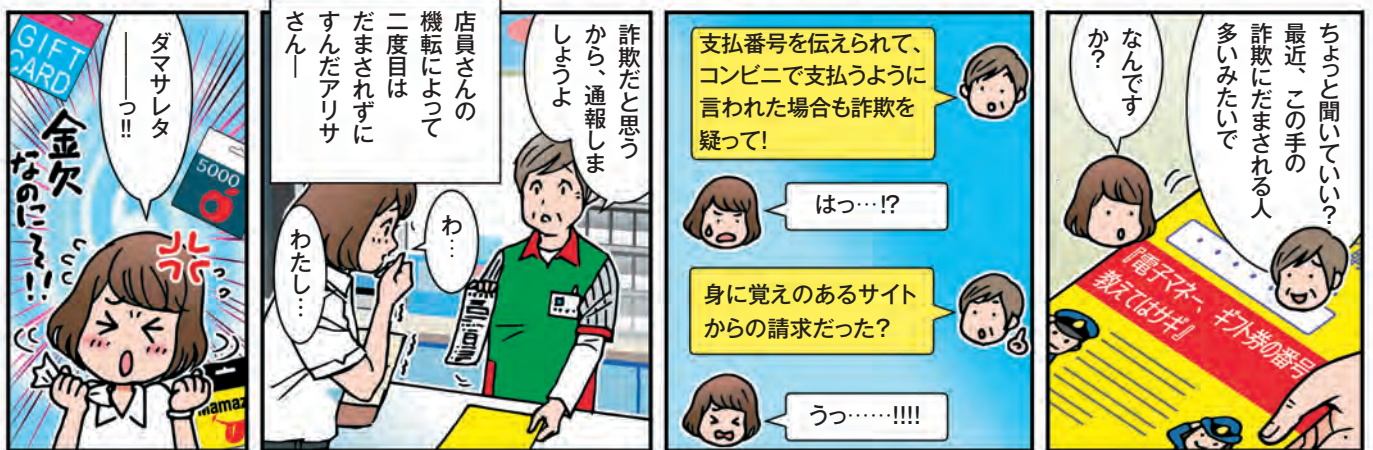
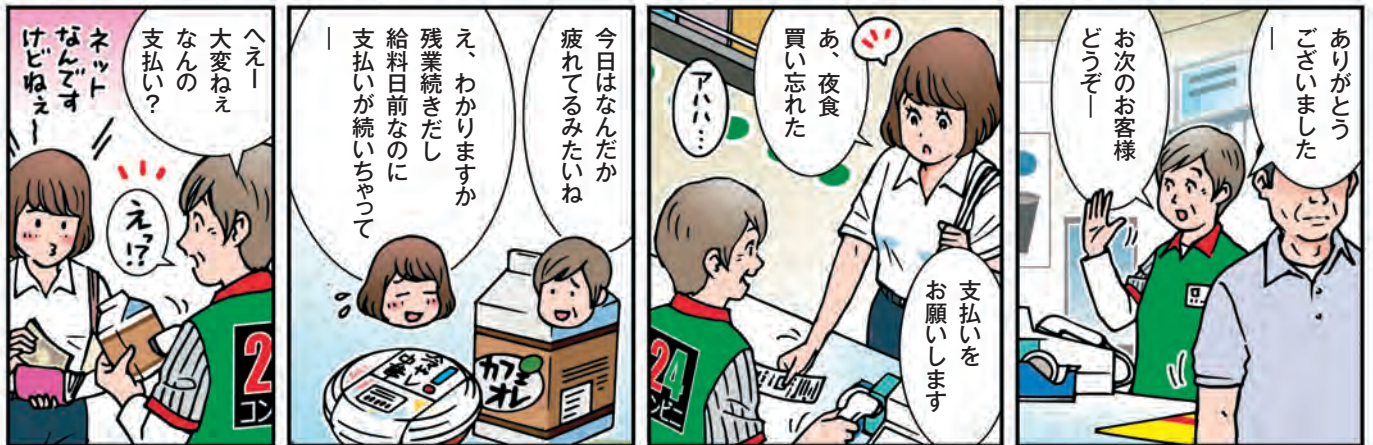
これから言う番号をメモ
してください。コンビニ
の端末にこの番号を入力
して発券される申込券を
レジで店員さんに渡して
支払ってください
金額は…
えーっ、
一万五千元!?
ハイ、今
メモします

売するなどして換金します。一度入力されたID番号は使えなくなるため、だまされたら気付いたときにはほとんどの場合、取り返しがつきません。プリペイドカードの価格は数千〜数万円と手ごろ。容易に購入できるところに犯人は目を付け、昨年からは被害が目立つようになりました。



3 コンビニの収納代行サービス 悪用する「収納代行利用型」

「電子マネー型」よりも、もう少し高額をだまし取りたい犯人たちが考えたのが、コンビニエンスストアなどの収納代行サービスと悪用する「収納代行利用型」です。収納代行サービスとは、電話やインターネットで注文した商品やチケットの代金を、クレジットカードなどを使わずにコンビニエンスストアなどを経由して支払うことができるサービス。商品などを注文するときに「コンビニエンスストアでの支払い」を選ぶと、支払番号が通知されます。この番号をレジに伝えて代金を支払ったり、コンビニエンスストアに設置されたマルチメディア端末に入力すると、決済用のシート(申込券)が発行されるので、これをレジに持参し代金の支払いを行うという仕組みです。犯人はあらかじめインターネットの商品購入サイトで商品券などを注文し、コンビニエンスストアでの支払いを選択することで支払番号の通知を受けます。この番号を被害者に伝え、未納料金名目でお金を支払うように仕向ける手口です。被害者は、未納料金を支払っているとの認識ですが、実は犯人が購入した商品券などの代金を肩代わりして支払っているのです。犯人は、こうして手に入れた商品券などを転売するなどしてお金を手にします。コンビニエンスストアの収納代行サービスの上限は30万円。「電子マネー型」よりも高額をだまし取ることが可能で、被害が急増しています。



POINT!
4 手口を知っておくことが身を守ることにつながる

現金を送付させたり、振り込ませたりする手口であるつと、この「電子マネー型」「収納代行利用型」であるつと、「架空請求詐欺」に対して共通する対処法は、身に覚えのない請求は無視するという事です。ただしスマートフォンが広く普及しドラマや映画といった動画サイトを利用する人が増えた現在では、「有料動画サイトの料金未納」と突然言われると、どこか思い当たる節があるという人も少なくありません。しかしここで慌てては、犯人の思うつぼ。通常有料動画サイトでは、プリペイドカードや収納代行サービスを使って利用料金の支払いをさせることはありません。「有料動画サイトの未納料金をこうした方法で支払わせようとする相手は、詐欺だと疑う必要があります。また「電子マネー型」「収納代行利用型」の被害者には、プリペイドカードや収納代行サービスをこれまで利用したことがなく、どのようなものかよく知らなかったという人が多くようです。こういう新しいサービスを理解しておくことも、身を守ることにつながります。

POINT!
5 被害にあってしまった場合はすぐに相談を!

各都道府県警も各小売店や収納代行業者などと連携し対策を進めています。プリペイドカード購入者にはレジで啓発チラシを配布、マルチメディア端末利用者には画面に注意喚起を表示させるなど、予防に力を入れています。ただし、それでもだまされてしまう場合もあります。そのときは「電子マネー型」の場合はプリペイドカードの発行元に早急に連絡、「収納代行利用型」の場合は領収書に記載された事業者などに連絡し、さらに最寄りの警察署や消費生活センターに相談しましょう。